

2026年 性虐待被害者のための祈りと償いの日 分かち合いのガイド

分かち合いのテーマ <私たちの交わりの再確認>

分かち合いのポイント

- あなたの教会（地区、小教区、共同体）の人と人との交わりは、あなたにどんな影響をもたらしていますか。プラスの影響は？マイナスの影響は？あるいは、あまり影響はない？
- 人と人との交わり作りのためにあなたが心がけていることは何ですか。
- あなたの教会で現在行われれていることで、交わり作りに役立っていると思うことは何ですか。また、改善したら良い、新たに試みたら良いと思うアイデアがありますか。

分かち合いを始める前に

- 司会者と記録係を決めてください。
- 分かち合いでは、参加するすべての人が発言します。そのため参加人数に応じて発言者の持ち時間を決めてください。一人2分以内あるいは3分以内で設定するのが良いと思います。
- 参加者は持ち時間内に話し終わるように、予め「分かち合いの準備シート」（別紙）に分かち合いたいことをメモにまとめておきましょう。

分かち合いの手順

☆祈りをもって始めましょう。

1. 第一ステップ

- 声を合わせて一緒に祈ったあと、ともに沈黙の祈りの時をもちます。
- 司会者を含め参加者すべてに発言する機会があるように配慮します。順番に準備したシートに従って発言するのが良いでしょう。他の参加者は発言者の話を途中で遮らないように敬意をもってその話に耳を傾けます。持ち時間を超過した場合は司会者が話を手早くまとめよう促します。
- 一人あるいは数名の参加者の分かち合いが終わるたびに沈黙の祈りの時をおきます。その時、分かち合いの内容で心に響いたこと、違和感を覚えたことを思い巡らします。必要であればシートに簡単にメモしておきます。
- すべての参加者の分かち合いが終わったら、5分程度沈黙の祈りをともにします。その時、改めて参加者の話の中で心に響いたこと、違和感を覚えたことを思い巡らし、心に浮かんだことをシートにメモします。

2. 第二ステップ

- 上の④でメモしたことに従って第一ステップで自分が感じたことを同じように一人ひとり順番に分かち合います。これは、第一ステップで自分が言い足りなかったことを補足することではありません。参加者の話に耳を傾けることで思い巡らしたことの分かち合いで、参加者の話に賛同することも賛成できないといった場合も相手への敬意をもってそれを分かち合

います。他の参加者も敬意をもってその話に耳を傾けます。

②一人あるいは数名の参加者の分かち合いが終わるたびに沈黙の祈りの時をおきます。

③すべての参加者の分かち合いが終わったら、5分程度沈黙の祈りをともにします。その時、第二ステップでの参加者それぞれの発言を振り返ります。

3. 第三ステップ

第一、第二ステップを振り返って分かち合ったことを整理していきます。このステップは、順番にではなく、自由に参加者が発言します。以下の三つのポイントで分かち合ってください。

①第二ステップで多くのメンバーが賛同していたのはどんなことだったでしょう。

②第二ステップで必ずしもみんなの考えが一致しているわけではないということが分かったことは何でしょう。

③もう一度振り返って、第二ステップでは分かち合われなかつたけれども第一ステップで分かち合ったことの中に大切だと感じたことはありませんでしたか。

☆最後に感謝の祈りをともに捧げて分かち合いを終わります。

※記録係の方は、第三ステップで話された内容を記録してください。差し支えなければ、当委員会にご報告くださる際にその概略をお知らせいただければ、幸いです。

※分かち合いの結果で、小教区に提案したい事柄は主任司祭、小教区評議会にお伝えください。